

子育て応援出前講座 レポート



日時
場所
参加者

2026年1月29日（木）10:00～11:00

リアル・オンラインのハイブリッド開催

全従業員のうち希望する方 330名参加

講演趣旨、概要と総括

兵庫県下に本社を置く日本イーライリリー株式会社において、人事部様と共同で、以下の趣旨を踏まえた講演会を開催いたしました。

1. 開催趣旨

新しい働き方を考える男性育休セミナーとして、育休の取得や、自分らしい働き方やトモイクの在り方を考える機会としました。セミナーを通じて、若手や未経験者が安心して育休を取得できるよう、組織全体での理解促進を目指しました。

2. 概要と総括

当初はファザーリングジャパン関西の講演を検討していましたが、日本イーライリリー内のダイバーシティ推進自主グループ様と連携することになり、共同でのパネルディスカッションも併せて実施し、この講演を皮切りに男性育休推進プロジェクトを動かしていくことになっております。

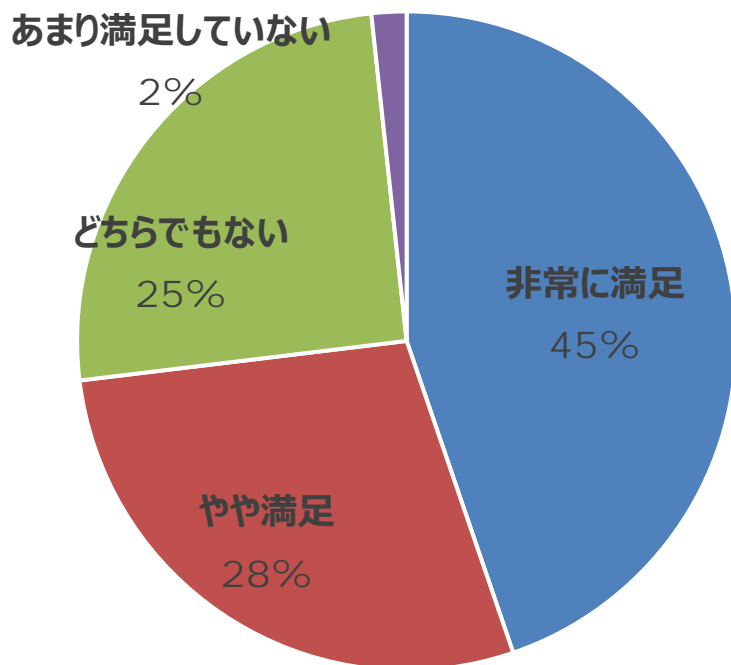
また講演にも大変力を入れて頂き、より多くの社員の方に届けられるよう英語や手話での同時通訳をつけてくださり、330名もの方がご参加いただきました。短時間で非常に多くの内容を盛り込むことになったため、より丁寧に解説したい部分もありましたが、今後の取り組みに期待したいと思います。

講演内容

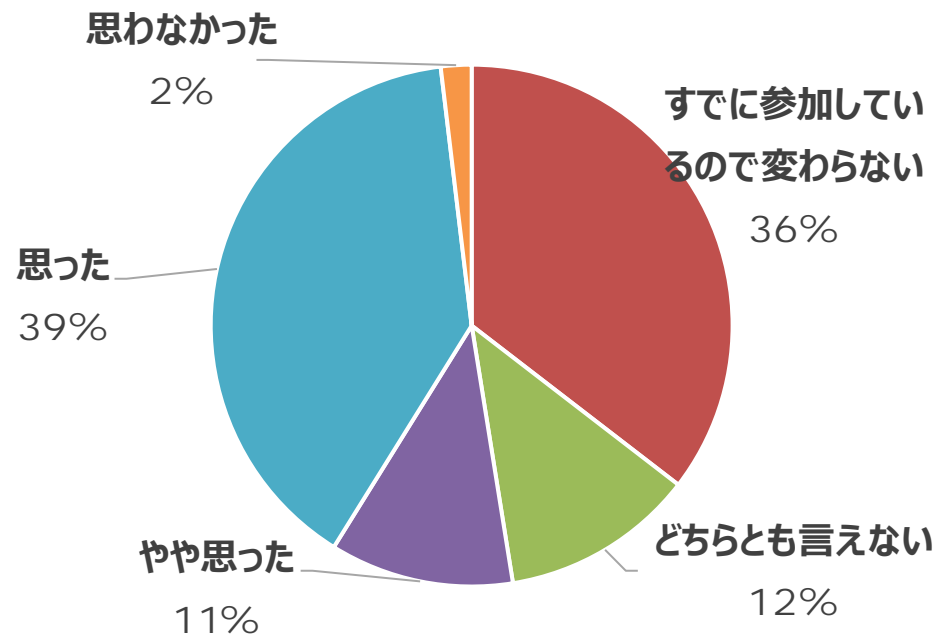
時間	パート	狙いとゴール	内容
4	オープニング	<ul style="list-style-type: none">リープの方向性、メッセージを理解する	
3	制度説明	<ul style="list-style-type: none">リープの育休制度・給付金等を理解する	
30	講演	<ul style="list-style-type: none">育休の本質的意義が理解できる意義ある育休を取ろう・応援しようと思える	<p>「育児休業はなぜ失敗するのか」</p> <ul style="list-style-type: none">育児休業はなぜ失敗するのか育児休業はなぜ戦略なのか私たちはどう支援すればいいのか
20	パネル ディスカッション	<ul style="list-style-type: none">育休の取得方法や過ごし方、復帰後の働き方について具体的なイメージを持てる育休取得にあたっての不安や課題、周囲のサポート事例も紹介し、周囲へのサポートのヒントを得る	<ul style="list-style-type: none">自己紹介(育休の取得状況、両立・トモイクの状況) 1分×3(3分)育休前に、仕事のどんな部分に不安を感じ、どう乗り越えたか 3分×2(6分)育休を取ってみて、働き方にどう影響を与えたか 2分×2(4分)本人・チームとしてどんな支援があると助かるか 1分半×2(3分)
3	Q&A クロージング		<ul style="list-style-type: none">男性育休プロジェクトメンバーの募集アンケート回答の依頼

アンケート結果

当セミナー全体の満足度はいかがでしたか。



「子育て中」の方におたずねします。この講座を受けて、家事・育児に積極的に参加しようと思われましたか。



アンケート結果（自由記述）

「忙しい人だからこそ、育児休暇を取る方が良い」というコメントが良かったです。忙しいから取れないと考えがちですが、今後も忙しく働くからこそ、今は立ち止まって子供や家族と向き合うべきだという意識にグッと変えられると感じました。

お子さんが生まれる場合に、育児休暇を取得するか悩まれている方に対し、育休取得により得られた点、キャリアへの影響含め、有益な情報があったように思います。

慈悲的バイアスのお話は盲点でした。良かれと思ってかける一言、何か支えてあげたいけどどういう声かけが良いのか分からず、、などでつい言うってしまう発言だと思いました。上司、同僚いずれの立場でも、育休を取る立場の心情や心配事をどこまで想像力働かせられるかを問われるのが新しい常識なのかなと感じました。

取得や育休中に会社とのやり取りで、うまくいかなかった事例がもっとたくさん聞きたかったです。

組織運営の観点で見たので内容が薄かった。「お互い様」になりづらい環境(常に負担する側に回る人がいる)での不公平感をどうしたらいいのか悩ましい。